

第 8 回議会改革特別委員会の議論の結果

協議事項の確認について

1. ペーパーレス会議システムについて
 - ・東京インタープレイ株式会社の「サイドボックス」を進める。
2. 政務活動費に関する検討について
 - ・条例案について、原案として決定とする。
3. 常任委員会の活動について（総務文教・福祉産業）
 - ・視察研修に関する検討や議論を委員会とする。
 - ・視察の方針を委員会で決めていく。
 - ・委員会議論の場所が必要。
 - ・地域課題に対しても委員会議論のテーマとして開催できるか。
 - ・町が把握していない地域課題については、地元議員の仕事。
 - ・会派を超えた委員会で対応する。
 - ・定期開催も視野に入れる。
 - ・課題を委員会ごとに振り分けて議論する。
 - ・委員会活動の年間計画を立てていく。
 - ・視察以外のテーマなどを決めて検討をしていく。
 - ・委員長を中心に委員会活動はできる状態である。
 - ・委員会の活性化が必要である。
4. 若い世代に向けた活動について
 - ・理想は、中高生の議会開催（羽生市議会）。
→各学校に出向いて実施している。平日の授業中。
 - ・中学校、高校への出前講座。
 - ・高校生との懇談会（春日部市議会）。
→生徒会を中心に実施している。
→開催日や開催場所については相手方に併せる。
 - ・若い世代の定義をどうするか。小中高生から 30 代、40 代？
 - ・過去に子ども議会を実施した。大人にやらされている感があった。
 - ・子どもたちから意見を吸い上げるような場。
 - ・出向いて話ができるように進めていく。
 - ・具体的な手法等については、これからも検討していく。

2. 常任委員会の活動について

(1) これまでの委員会活動

- ・ 請願の付託（請願審査）
- ・ 特別委員会（予算審議、決算審査）

(2) これからの委員会活動（内容、目的）

- ・ 視察研修に関する検討や議論をして、次年度の視察方針を決定する。
- ・ 委員会活動活性化のため、委員長を中心に年間計画を立てる。
- ・ 地域課題や議論のテーマを抽出して委員会活動を始めてみる。

(3) 今後の展開

3. 若い世代に向けた活動について（主権者教育）

(1) これまでの取り組み

- ・ 過去に子ども議会を実施したが、やらされてる感があった。
- ・ 学校の先生方への負担も考慮する必要があった。

(2) これからの取り組み

- ・ 中学校、高校への出前講座の検討。
- ・ 宮代高校の生徒との議会懇談会開催に向けて、開催日や開催場所については相手方に併せる。
- ・ 若い世代の定義をどうするか。小中高生から30代、40代？

(3) 今後の展開
